

真理子先生の

女性のさかた

経口避妊薬（OC）^①

伊藤 真理子

●（いとう・まりこ）1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

治療薬で保険適用も

昨年、治療薬としてのOCが2つの場合で保険適用を受けられるようになりました。ひとつは子宮内膜症に使われる場合、もうひとつは月経困

ピルなど経口避妊薬（OC）が避妊以外にも様々な病気の治療にも有効なことは以前に御紹介していたかと思えます。

難症（生理痛）に使われる場合です。

こうした症状にOCを使えば、月経周期は28日と順調になり、出血量も減って月経痛は軽くなります。ニキビなどお肌も安定して月経前症候群にも効果的です。

気になる副作用は？

心配される副作用ですが、最近のOCは初期のものとは異なりホルモン量は少なめ。飲み始めに吐き気、頭痛、腹痛、乳房の張りなどの症状がでる場合もありますが、こうした副作用も数カ月で慣れて気にならなくなる場合が大半です。

体重が増えたり、乳がんになりやすくなることを心配されている方も少なくないようですが、医学的に因果関係は証明されていません。

飲めない人もいます

ただ、OCを飲めない方もいらつしやいます。女性ホルモンの影響を受けやすいがんを罹っていたり、偏頭痛や血液が固まりやすい素因を抱えている方々で、ヘビースモーカーの方にもお勧めできません。

ライフスタイルに合わせ

OCは皆さんのライフ

スタイルに合わせて服用するものです。OC本来の役割である避妊は女性が自ら望む時に妊娠するために大切な方法。避妊目的ならぜひパートナーには内緒にし、自分の体を守るための薬と考えましょう。

当然ですが、OCで性行為感染症を防ぐことはできず、コンドームも欠かせません。

ともあれ、女性としてOCのある幸せな時代に生まれたことに感謝しましょう。

